**男子１００ｋｇ超級**

準決勝戦第１試合

３合田　良太　　一本背負投　　○４須藤　紘司
(ダイコロ)　　(京葉ガス)
右組み同士。須藤は開始１０秒、右に組むと見せて、左から高い姿勢の一本背負投で長身の合田を担ぎ、合田を宙に回せて豪快に一本を決める。

準決勝戦第２試合

３桶谷　知生　　合せ技　　○４片渕　慎弥
(立花学園柔道クラブ)　　(日本中央競馬会)
片渕は新人桶谷と対戦し、左で組み合う。１分４０秒、左一本背負投と見せて左小内刈(小内巻込)で有効を先取。続く２分１８秒には長身の桶谷の奥襟をしっかり握り、右足を一歩踏み込み、左に支釣込足に振って桶谷を裏返して技ありを奪う。そのまま横四方固で抑え込み、合せ技一本。

決勝戦

４須藤　紘司○　　内股　　４片渕　慎弥
(京葉ガス)　　(日本中央競馬会)
開始早々、須藤が右一本背負投で片渕を大きく泳がせるが、その後は攻防乏しく１分１７秒に互いに指導１を受ける。以降も引き手争いが続く中、２分７秒になって須藤が右組から低い姿勢の左一本背負投で有効を奪う。
片渕は懸命に左内股で反撃するも果たせず。こうして迎えた４分２５秒、挽回を期し攻勢に出る片渕が左腕を須藤の脇に差し入れて押し込むところを、須藤が片渕を引き寄せて内股で跳ね上げると、片渕の巨体は背中からごろりと落ちて一本。新人須藤、嬉しい初優勝。